

# 個人投資家様向け 会社説明会



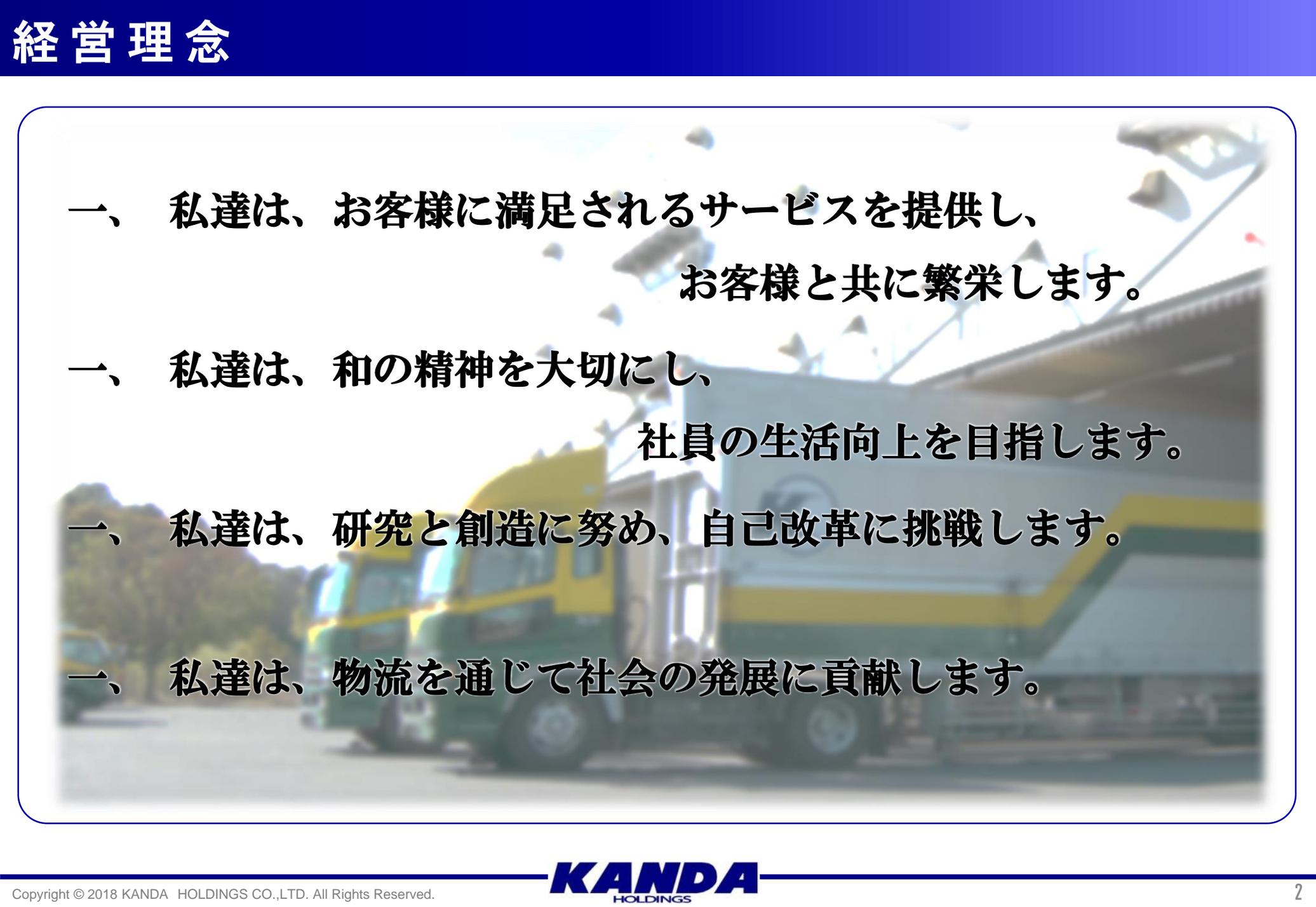
## カンダホールディングス株式会社

東京証券取引所市場第二部 証券コード：9059

**KANDA**

平成30年12月5日

**KANDA**  
HOLDINGS

- 
- 一、 私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、  
お客様と共に繁栄します。
  - 一、 私達は、和の精神を大切にし、  
社員の生活向上を目指します。
  - 一、 私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
  - 一、 私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。

# 目次

## ■ カンダグループの概要

会社概要	5
会社沿革	6
拠点ネットワーク	7

## ■ 事業の概要

事業の特徴	9
事業概要	10
取扱別品目別売上高	11

## ■ 中間決算概要と中期経営計画の進捗状況

平成31年3月期 上半期業績トピックス	13
連結業績推移（売上高）	14
連結業績推移（営業利益）	15
連結業績推移（経常利益）	16
連結業績推移（当期純利益）	17
投資計画進捗状況	18
平成30年度 経営方針	19

## ■ 株価と配当推移

株価・配当推移	21
株価指標推移	22
優待制度と配当利回り	23

## ■ トピックス

EC関連事業	25
釣銭作成ロボットの開発	26
事業所内保育施設	27
新センター竣工	28
新本社ビル建設	29
社員寮建替え	30
遊休不動産の活用	31
ESG	32・33
BCP	34



# カンダグループの概要

# 会社概要

商号	カンダホールディングス株式会社
本店	〒101-0061 東京都千代田区東神田3-1-13
本社事務所	〒115-0051 東京都北区浮間4-22-1 浮間物流センター
創業	昭和18年11月
代表者	代表取締役社長 勝又 一俊
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結：2,331名（平成30年9月末日現在）
グループ会社	26社（平成30年9月末日現在）
上場区分	東京証券取引所市場第二部
証券コード	9059

SINCE  
**1943**  
KANDA, TOKYO

## 創業期

昭和38年：出版物共配開始

昭和20年代：定期路線便の構築

昭和19年：神田運送株式会社設立

昭和18年：東京都神田区内の運送会社  
16社の一括統合により発足

## 運送業から物流業へ

平成21年：持株会社体制へ移行  
商号をカダホールディングス株式会社に変更

平成18年：流通加工事業者を傘下に加える

平成16年：東京証券取引所市場第二部へ上場

平成6年：日本証券業協会に株式を店頭登録

平成3年：カダコーポレーション株式会社へ社名変更

## 国際物流への進出 ~ 総合物流企業を目指して

平成29年：低温輸送を手掛ける(株)中村エンタープライズを  
グループ傘下に加える  
/ PT.JAPANDO INTERTRANS PRIMAをグループ化し、インドネシア  
ジャカルタの現地法人に吸収合併

平成28年：カダハーティーサービス(株)が特例子会社認定を受ける

平成27年：インドネシアジャカルタの駐在員事務所を現地法人化  
/ 日本物流ネットワーク協力会(JLNA)発足

平成26年：NVOCCであるニュースターライン(株)・ベルトランス(株)を  
グループ傘下に加える

平成25年：インドネシアジャカルタに駐在員事務所を設立

平成24年：NVOCCである(株)ハーバーマネージメント(現PGE)と  
国内流通加工業者である(株)ジェイペールをグループ傘下に加える  
/ タイバンコクに現地法人、中国上海に駐在員事務所を設立

平成23年：国際宅配事業者をグループ傘下に加え、国際物流事業に  
本格的に進出





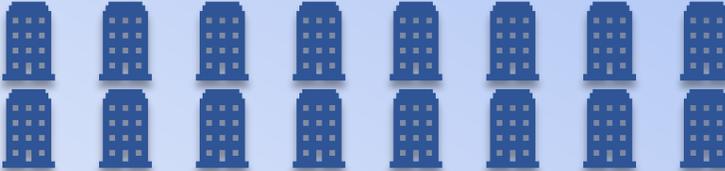
# 事業の概要

# 事業の特徴

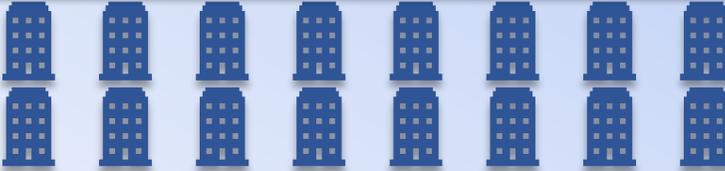
## ■ カンダグループの4つの強み



多種多様な物流サービスを提供できる国内外グループ体制



3,500社に及ぶお客様との取引に支えられた裾野の広さ



1つの業種・業態、企業に偏らない幅広い営業基盤



国内外を一気通貫で結ぶ国際物流ネットワーク



# 事業概要

物流センター  
(在庫型)



物流センター  
(通過型)



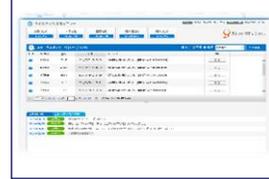
データ  
センター



WMS



WEB受発注  
システム



航空宅配



航空輸送



機密文書  
保管



カンダグループでは

**3,500社**

に及ぶあらゆる業態のお客様に、

多種多様な物流サービスを御提供しております。

海上輸送



社内メール  
サービス



流通加工



共同配送



警備輸送  
(集配金)



引越し



現地法人



越境EC



冷凍冷蔵  
輸送



化学薬品  
輸送



建築資材  
運搬



廃棄物  
収集運搬



介護・介助  
輸送



バイク便

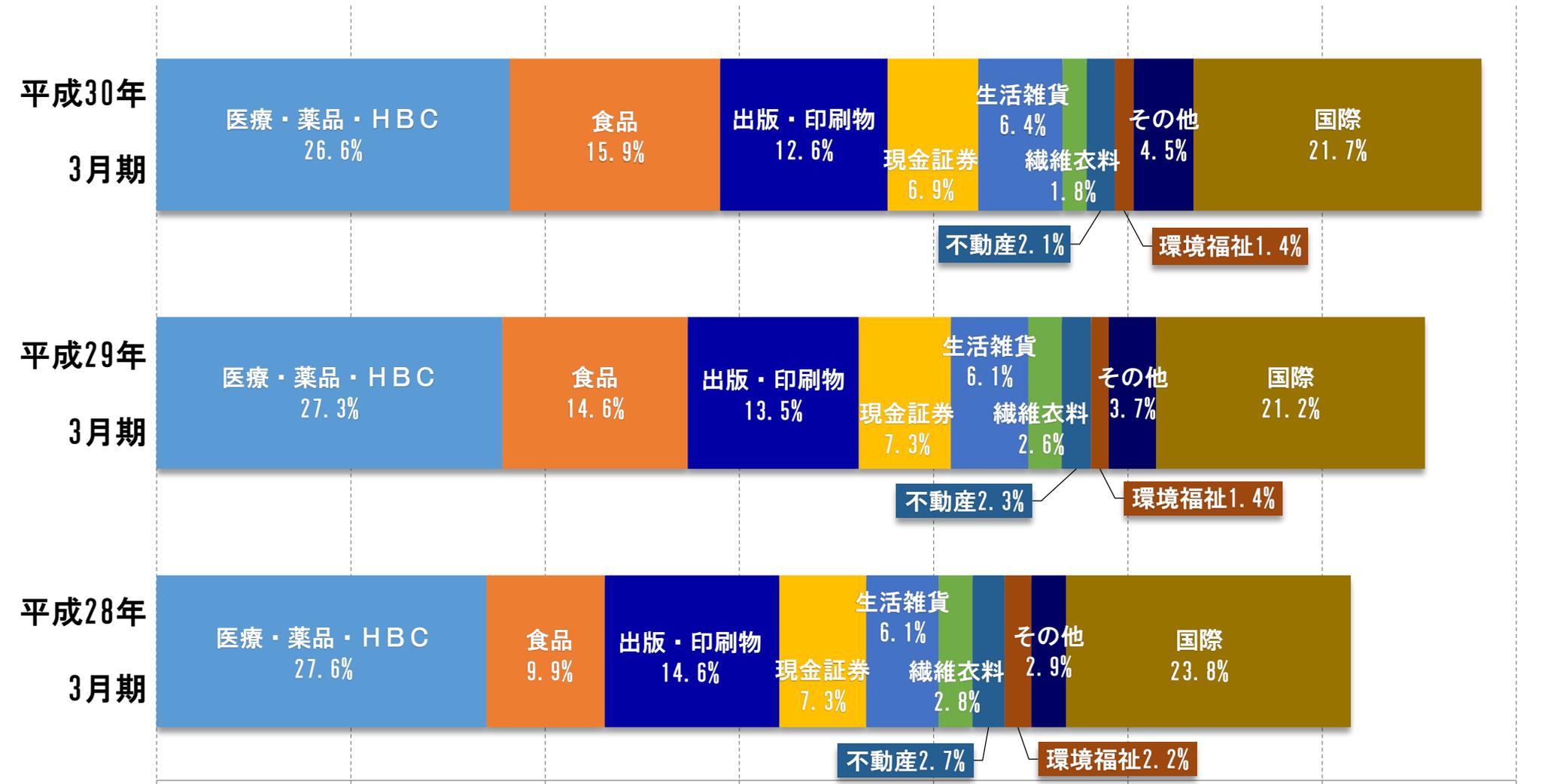


買物代行  
宅配サービス



# 取扱品目別売上高

## ■ 取扱品目別売上高と構成比率



(百万円)

# 中間決算概要と 中期経営計画の進捗状況

■ 加須豊野台物流センターの立ち上げ及び近隣拠点再編に伴う費用増加

■ 全事業用車両へのドライブレコーダー設置

■ 燃料費の増加



## ■ 経常利益

》上半期計画値と実績の差異

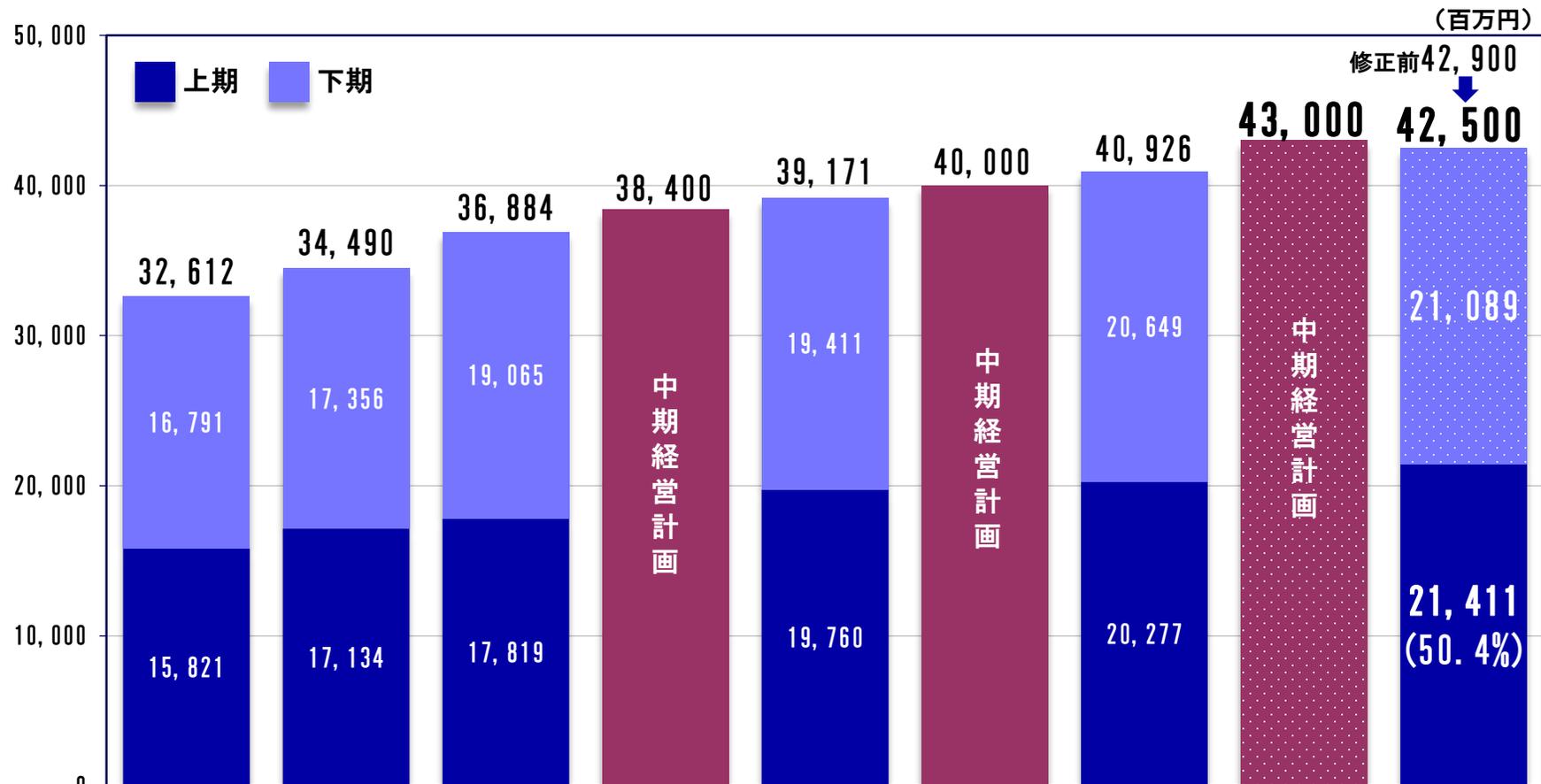
計画値： 950百万円    実績値： 777百万円（▲172百万円）

》修正後 通期計画値

修正前：1,880百万円    修正後：1,600百万円（▲280百万円）

# 連結業績推移

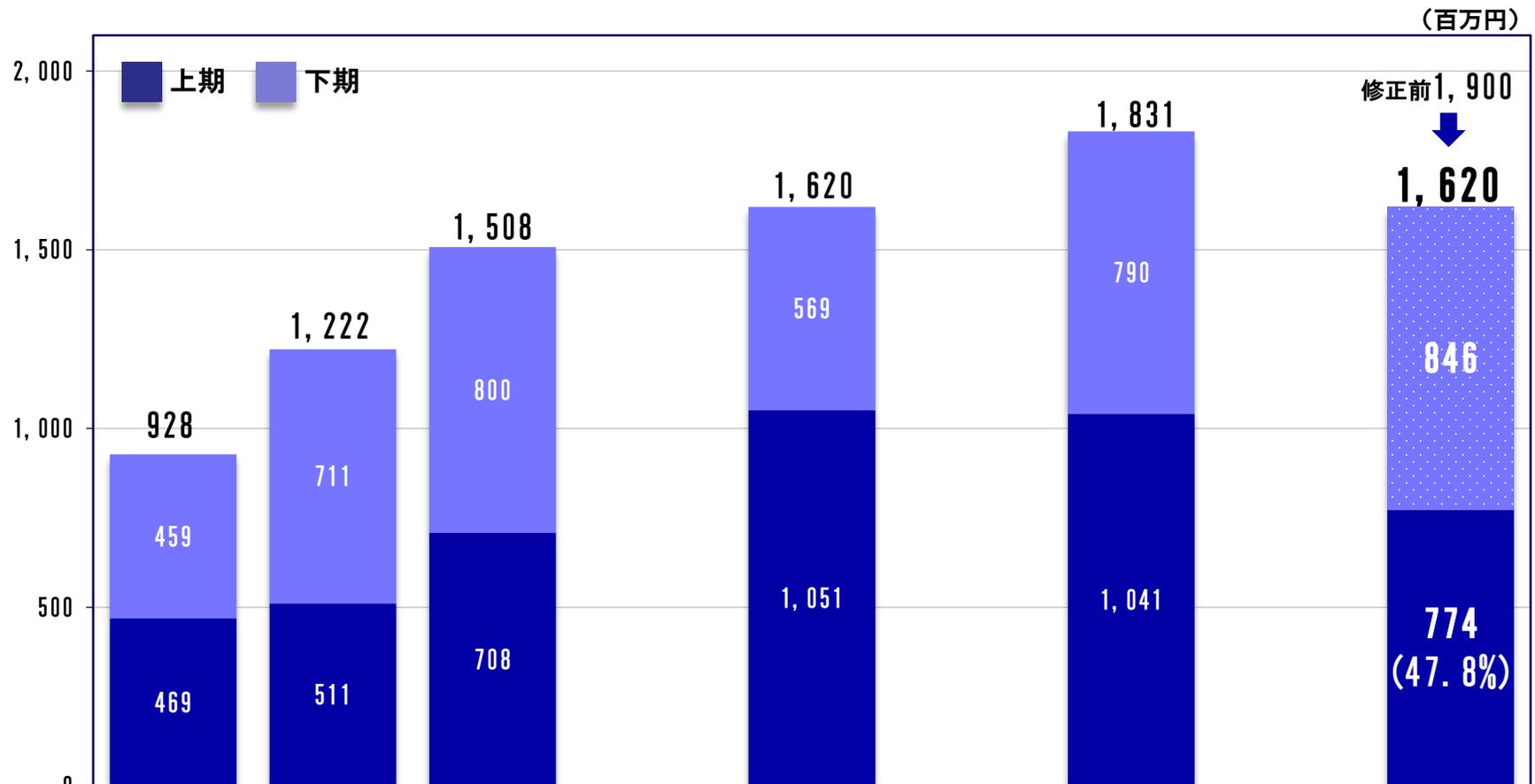
## ■ 売上高



連結	売上高	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3		H30/3		H31/3	
					中計1年目	実績	中計2年目	実績	中計3年目	計画
		32,612	34,490	36,884	38,400	39,171	40,000	40,926	43,000	42,500
	前期比	+16.0%	+5.8%	+6.9%	-	+6.2%	-	+4.5%	-	+3.8%

# 連結業績推移

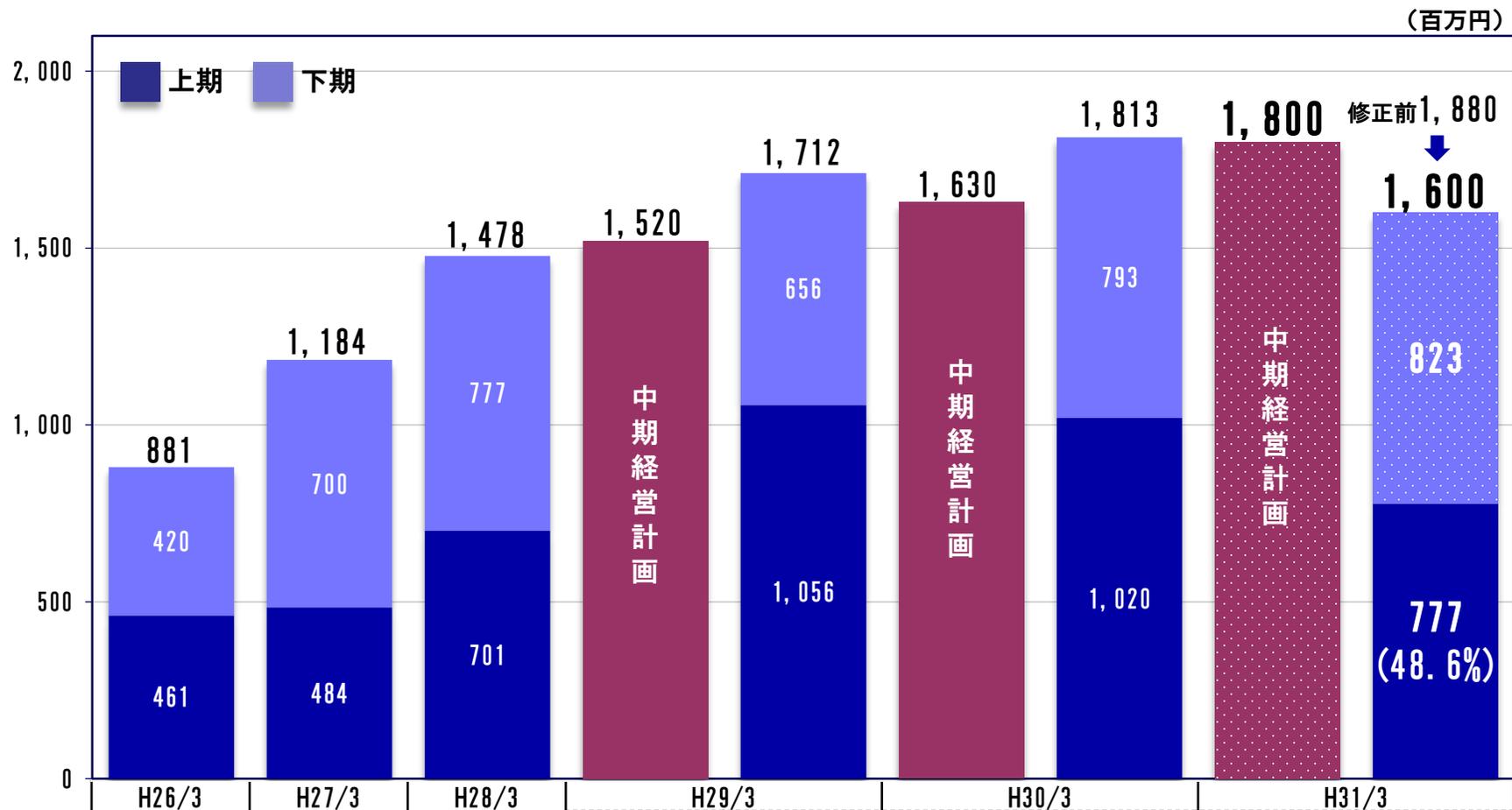
## ■ 営業利益



		H26/3	H27/3	H28/3	H29/3		H30/3		H31/3	
					中計1年目	実績	中計2年目	実績	中計3年目	計画
連結	営業利益	928	1,222	1,508	-	1,620	-	1,831	-	1,620
	前期比	△19.4%	+31.7%	+23.4%	-	+7.4%	-	+13.0%	-	△11.6%

# 連結業績推移

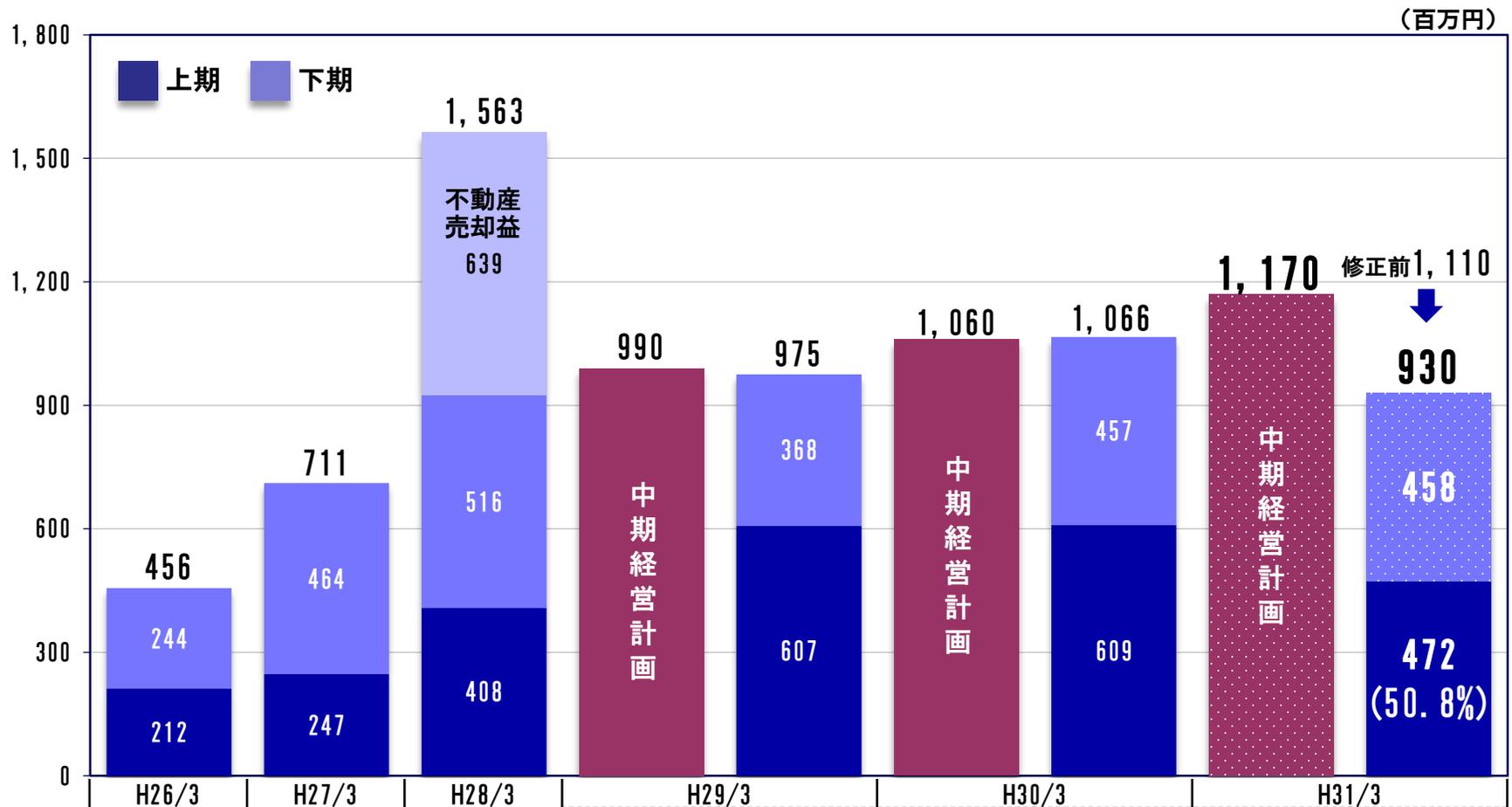
## ■ 経常利益



連結	項目	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3		H30/3		H31/3	
					中計1年目	実績	中計2年目	実績	中計3年目	計画
	経常利益	881	1,184	1,478	1,520	1,712	1,630	1,813	1,800	1,600
	前期比	△20.1%	+34.4%	+24.8%	-	+15.8%	-	+5.9%	-	△11.7%

# 連結業績推移

## ■ 当期純利益



連結	当期純利益	H29/3			H30/3		H31/3			
		中計1年目	実績	中計2年目	実績	中計3年目	計画			
	456	711	1,563	990	975	1,060	1,066	1,170	930	
	前期比	△18.7%	+55.9%	+119.8%	-	△37.6%	-	+9.3%	-	△12.8%

# 投資計画進捗状況

## ■ 計画と実績

単位：百万円

	平成29年3月期		平成30年3月期		平成31年3月期		3カ年累計								
	中計1年目	実績	中計2年目	実績	中計3年目	見込	中計	見込	差						
車 両 関 連	代替	400	代替	387	代替	400	代替	400	代替	376	1,200	1,174	△26		
									ドライブ レコーダー	26					
施 設	足利	30	足利	30	加須 豊野台	2,500	加須 豊野台	2,090	本社	1,300	本社	907	5,830	3,944	△1,886
								本社	479	堺 二期	2,000	堺 二期			
M&A	M&A	500		501	M&A	500		89	M&A	500	M&A	500	1,500	1,090	△410
その他		0		0		0	その他	83		0		0	83	83	
計		930		1,356		3,400		3,126		4,200		1,809	8,530	6,291	△2,239

# 『NEXT KANDA』

— カンダグループの未来を描こう —

## 1. コンプライアンス経営の遵守

- ① 法令遵守と職場環境の改善に取り組む。
- ② 交通事故と労災事故の前期比半減に取り組み、事故率5%以下を実現する。
- ③ 社内監査体制を強化する。

## 2. 管理部門の刷新

- ① 次世代を展望した積極的な人材の登用と育成を図る。
- ② ダイバーシティを更に推進し、多様な人材の確保と育成に取り組む。
- ③ 環境変化に合わせ、制度や規定の改定を進める。
- ④ 管理部門のスリム化と事務処理の合理化・集中化を図る。

## 3. 収益目標の必達

- ① 不採算事業に目途をつけ、全営業拠点の黒字化を完結させる。
- ② 生産性を高め、拠点毎の収益率の改善を図る。
- ③ 新しい科学技術を取り入れ、省力化、効率化に向けた研究を進める。

## 4. 国内外の業容拡大

- ① 新規荷主と新規業務の獲得を図る。
- ② 更なる国際物流の拡大とEC物流への取り組みを強化する。
- ③ 新分野の事業の研究・開発に取り組む。
- ④ グループ内の国内外協業を活発化させる。
- ⑤ M&Aの積極的な推進とアライアンスによるネットワークを構築する。

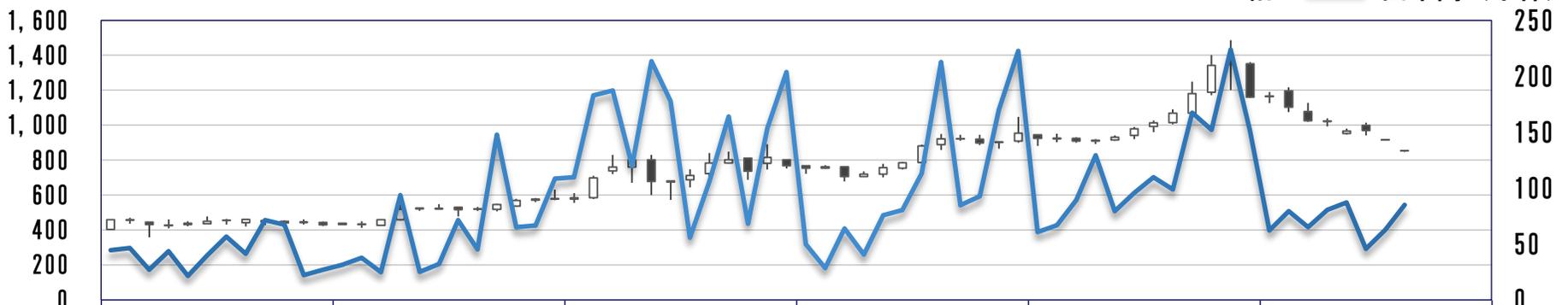
# 株 価 と 配 当 推 移

# 株価・配当推移

## ■ 株価・出来高

左軸：株価チャート（円）

右軸：出来高（千株）

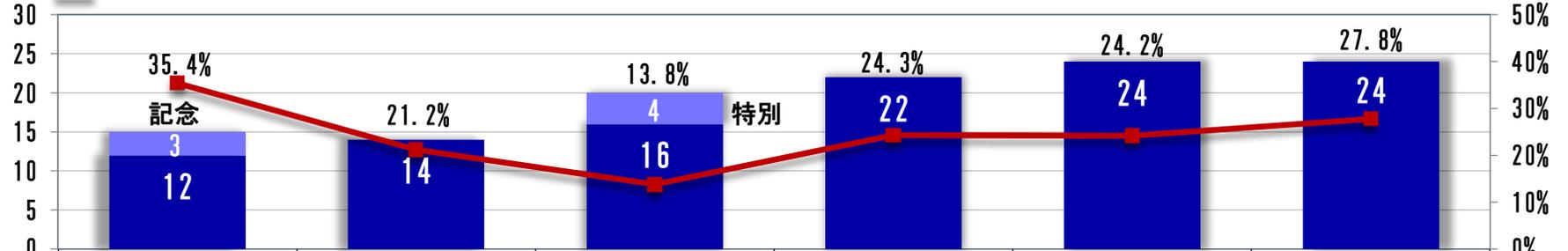


	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3	H31/3
株価（終値）	429円	580円	767円	953円	1,160円	-

## ■ 配当・配当性向

左軸：1株あたり年間配当（円）

右軸：配当性向（%）



	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3	H31/3 (予定)
年間配当/株	12円+3円 (記念)	14円	16円+4円 (特別)	22円	24円	24円
配当性向	35.4%	21.2%	13.8%	24.3%	24.2%	27.8%



# 株価指標推移

## PER・EPS

左軸： —■ PER (株価収益率)

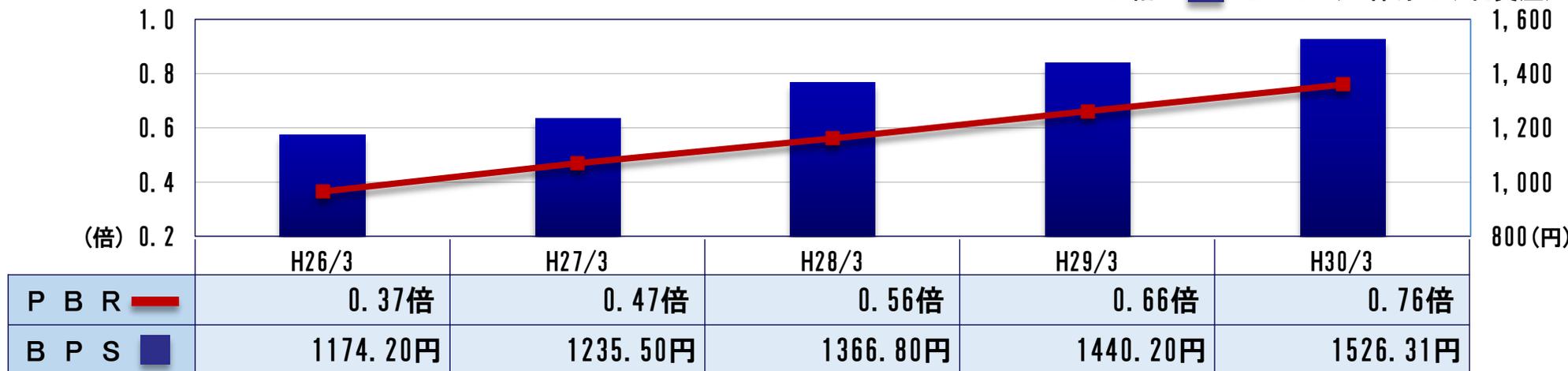
右軸： ■ EPS (1株あたり純利益)



## PBR・BPS

左軸： —■ PBR (株価純資産倍率)

右軸： ■ BPS (1株あたり純資産)



# 優待制度と配当利回り

## ■ 株主優待制度

保有株式数	株主優待
100株以上	図書カード 1,000円分
500株以上	図書カード 2,000円分
1,000株以上	図書カード 3,000円分
2,000株以上	図書カード 4,000円分
3,000株以上	図書カード 5,000円分



## ■ 配当利回り

### 【配当利回り計算】

単元株100株を、株価 855円 で購入頂くと… ※2018年11月30日終値

配当2,400円、株主優待1,000円 ⇒ 実質配当金額3,400円 **配当利回り 3.98%**

## ■ 自己株式取得状況

平成30年9月末時点の自己株式は891,400株（総発行株式に占める割合：7.65%）となっております。

トピックス

# E C 関連事業（越境ECフルフィルメントサービス）

■ 越境ECに進出された(したい)企業様のロジスティクス面をサポートする新規事業を開始。

※ 越境EC：売主がインターネットを通じ国境を越えて商品を販売するビジネス

【サービスイメージ】

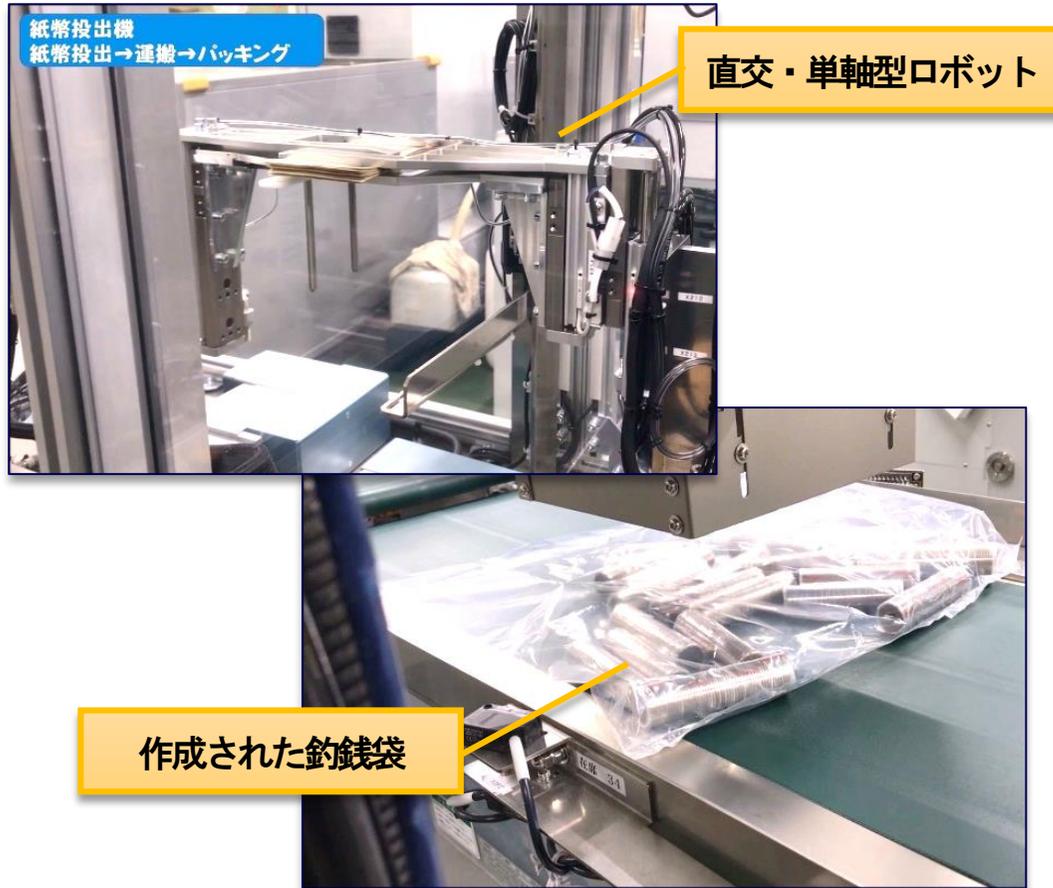


※上記のサービスは開発中のものであり、リリース時の機能を保証するものではありません。

》国内事業者様が抱える、越境ECにおける煩雑な発送/管理業務をトータルでサポートいたします。

# 釣銭作成ロボットの開発

■ 集配金事業の釣銭作成工程において紙幣搬送ロボットを開発。



労働生産性	1.4倍	
人数	7人	➡ 5人
労働時間	8時間	➡ 8時間
生産量	3,000個	➡ 3,000個
その他の効果	不要物(ビニール)の削減	

投資回収年	6.6年	
効果/年	▲14,763千円	
効果内訳	作業人件費	▲13,627千円
	資材費用	▲128千円
	廃棄費用	▲110千円
	保守費用	▲898千円

- ロボットの関節部分を直交・単軸型に変更。
- 関節への負担が軽減され、エラー故障が大幅に減少。
- 釣銭袋の作製時間が1袋あたり5秒以上短縮。
- 音声ガイダンスをエラーメッセージに加えることで、解除作業への対応が容易となった。

》 本ロボットの採用により年間約15百万円のコスト削減を実現しました。

》 この取り組みが認められ経産省のロボット導入実証事業(コスト削減に向けたS I プロセス実証事業)に採択されました。

# 事業所内保育施設

■ グループ内で2園目となる「ラビット保育園 加須豊野台」を開園。

岩槻物流センターに続き、本年竣工された加須豊野台物流センターにも事業所内保育施設を開園いたしました。



グループ内  
2園目の

働くお父さん、お母さんへ

**ラビット保育園  
はじめました!**

カンダホールディングス企業内保育所

子どもたちの「ドキドキ」「ワクワク」を育てます!

名称	ラビット保育園
設置場所	加須豊野台物流センター
対象	0歳児から5歳児まで (最大定員数19名)
開園曜日	月～土(祝日を含む)
保育時間	8時30分から19時30分 (延長最大21時30分まで)
開園日	平成30年12月3日

》 経営方針として掲げている「働きやすい職場づくり」の一環として、当社で働くお父さん、お母さんの「仕事と育児の両立」をサポートするよう今後も取り組んでまいります。

》 本保育園では最大定員19名のお子様をお預かりすることが可能です。

# 新センター竣工

■ 新たな物流拠点として平成30年3月「加須豊野台物流センター」が竣工いたしました。

4,247坪（3層）



埼玉県加須市

加須  
豊野台  
物流センター

## ■ 施設設備

- |                          |            |
|--------------------------|------------|
| ■ 高床式                    | ■ ドックレベラ有  |
| ■ 天井高：梁下有効5.5m           | ■ 床荷重：1.5t |
| ■ 荷物用エレベーター2基            | ■ 垂直搬送機2基  |
| ■ 危険物倉庫                  | ■ 全館LED照明  |
| ■ 庫内空調完備（2F、3F、危険物庫）     |            |
| ■ グループ内2ヶ所目となる事業所内保育園を設置 |            |



所在地 〒349-1148 埼玉県加須市豊野台1丁目471-6

アクセス 東北自動車道「加須IC」3.0km 5分

- 》 東北自動車道「加須IC」から至近で、関東一円～東北までを広範囲にカバーすることが可能となります。
- 》 付近に点在する物流拠点の一部を集約することで、より効率的な業務運営を目指して参ります。

# 新本社ビル建設

■ 当社発祥の地である東京都千代田区神田三崎町に本社ビルを建設中です。

【完成予想パース】 平成31年3月完成予定



【地図】

所在地	東京都千代田区神田三崎町3丁目2番4号
-----	---------------------



- 》耐震性能の劣化で解体した旧社屋の跡地に、営業及び事務の効率化、人材採用面を考慮した新社屋を建設中で、平成31年3月完成予定（免震構造）となっております。
- 》新社屋は千代田区低炭素建築物助成制度（省エネルギー35%以上）適用の、環境に配慮した設計となっております。



# 社員寮建替え

## ■ 品川区東大井にある社員寮を建替えております。

【完成予想パース】 平成31年3月完成予定



【地図】

所在地	東京都品川区東大井3丁目1番5号
-----	------------------



- 》 隣地を買い増した上で社員寮の建替えをしております。主に人材採用面に考慮したもので、地方から上京してくる新卒者の生活基盤を支えるべく計画いたしました。
- 》 平成31年3月の完成予定で、本社の建設に併せ来年度の新入社員から入居が可能となります。

# 遊休不動産の活用

## ■ 介護付有料老人ホームの事業用地として、遊休地を長期賃貸いたします。

【完成予想パース】 平成31年8月末完成予定

(仮称)Dプロジェクトシルバー下高井戸



パースはタイワハウス工業㈱による計画図であり、実際の建物とは異なる可能性があります事をご了承下さい。

用途	高齢者居住施設（介護付有料老人ホーム）
契約	平成30年10月
敷地面積	2,114.41 m <sup>2</sup> （約640坪）
建物	RC造 / 地上3F 地下1F / 55室

【地図】

所在地	東京都杉並区下高井戸3-28
-----	----------------



- 》 事業所の跡地を活用することで50年間に渡る安定的な賃貸収入を確保いたしました。
- 》 本取り組みは間接的ながらも地域の社会貢献に役立つものと考えております。

## ■ 環境【Environment】

- 》事業用車両のハイブリッド車への代替は事業や車両の特性を鑑みながら計画的に進め、電気自動車の導入についても検討して参ります。
- 》大型物流センター3ヶ所の屋上部分にソーラーパネルを設置し、太陽光発電を行っております。
- 》新本社ビルでは、低炭素化社会に向けた環境に配慮した設計となっており、千代田区低炭素建築物助成制度(省エネルギー35%以上)の適用を受けております。
- 》改正省エネ法による特定輸送業者として対応を強化いたします。
- 》グリーンエコプロジェクトへの参画を拡大いたします。



## ■ 社会【Social】

- 》特例子会社「カンダハーティーサービス株式会社」を設立し、障害を持つ方々の雇用を促進しております。安心して就労できる職場環境の整備に努めるだけでなく、仕事に役立つ知識や技能、実践的な作業能力を身につけるための障害者委託訓練を行政より受託し、雇用・就業・自立支援を積極的に行っております。
- 》子供たちの安全な登下校をサポートする活動「子ども見守り隊」に参加しております。平成30年2月、この活動において群馬県大泉警察署より感謝状を授与されました。
- 》神田消防署の消防団員として地域の皆様の防火・防災に努めております。



## ■ 企業統治【Governance】

- 》法令・倫理綱領・社会規範・会社諸規程等に基づく企業倫理を確立し、公正で誠実な経営を実践します。
- 》内部統制（会社法、J-SOX、各業法）を強化いたします。

### - 安全への取り組み -

- 運行管理者・セーフティーアドバイザーなど各種社内研修会を開催しています。
- 技術教育訓練学校（自社保有）を活用した乗務員への実技指導を実施しています。
- 事故撲滅対策委員会による営業所の巡回と巡察パトロール指導を実施しています。



### - 品質改善活動 -

- 1995年より「ダッシュ21」と呼ぶQC活動を、全職場・全従業員の参加を基本として、23年間に渡り継続して実施しています。本年度も220サークル、2,349名の従業員が、作業品質改善や生産性向上などのテーマに沿って活動に取り組んでいます。
- 各職場での成果発表に加え、その年の優秀サークルを各職場より選抜し、毎年開催される中央発表大会の場を通じて、グループ内の相互啓発に寄与しています。



## ■ 災害への備え

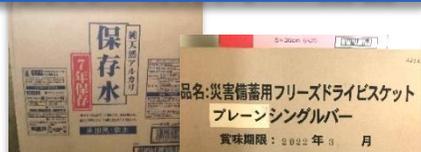
予想される重大な災害等（自然災害・感染症等）により甚大な被害が発生した場合においても、物流サービスの継続的な提供により社会貢献を行うことを目的として『BCP基本方針』を定め『事業継続計画』を策定しています。

### 【基本方針】

- 》従業員とその家族の安全・安心を最優先に活動します。
- 》施設、設備についての予防措置及び支援物資の確保を行います。
- 》事業存続及び早期復旧を目指した体制を確立します。
- 》地域社会の一員として貢献します。
- 》従業員の定期的な教育訓練と計画の定期的見直しを行います。



### 食料・飲料水の備蓄



災害対策本部となる本社事務所で  
は本社従業員数の3日分にあたる  
食料・飲料水を備蓄しております。

### 燃料確保



全国4ヶ所の自社施設にてイン  
タンクを設置し、車両3日稼働分の  
燃料を備蓄しております。

### データバックアップ



情報資産を守るため、データの  
バックアップセンターを関東地区  
に設置しております。

### 緊急時連絡体制



電話回線が不通になる事態に備え、  
全国13の営業所で衛星携帯電話  
を設置しております。

### 非常用自家発電設備



停電等のリスクを鑑みて一部の物  
流施設では非常用自家発電設備を  
設置しております。

### 高耐震施設



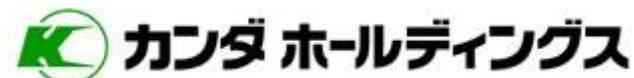
自社の物流施設では、建築基準法  
の規定を上回る耐震基準を設け、  
設計・建築しております。

**本資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。**

**記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。**

**従いまして、将来の計画数値や施策の実現等の記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらしうることがあることをご承知おきください。**

**また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。**



お問い合わせ先: カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話 03-6327-1811(代) FAX 03-6327-1800

ホームページ : <http://www.kanda-web.co.jp/>

e-mail : [hd-soumu@kanda-web.co.jp](mailto:hd-soumu@kanda-web.co.jp)